

第117期中間期

# 株主の皆様へ

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで



トピー工業株式会社

<http://www.topy.co.jp>

証券コード 7231

代表取締役社長

清水良朗



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

ここに、第117期第2四半期の営業の概況をご報告するにあたり、ひとことご挨拶申しあげます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、外需拡大による輸出の増加や政府の経済対策等により、企業収益や個人消費に緩やかな回復が見られたものの、厳しい雇用環境や世界経済の下振れ懸念に加え、急速に円高が進展し、景気は不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、昨年より継続してあらゆるコスト改善諸施策に取り組み、強靱な収益構造の確立に邁進してまいりました。その一環として、豊橋製造所大形圧延工場加熱炉におきまして、燃料をより効率の高い液化天然ガスに転換いたしました。

その結果、当社グループは、主要事業分野である自動車・産業機械部品事業における需要の増加とコスト改善諸施策の効果が相俟って、売上高1,067億2千3百万円

(前年同期比17.1%増)、営業利益26億9千9百万円(前年同期 営業損失27億9千2百万円)、経常利益20億2千9百万円(前年同期 経常損失23億1千1百万円)、四半期純利益5億1千6百万円(前年同期 四半期純損失27億4千2百万円)を計上することができました。

なお、配当につきましては、当社の利益配分に関する基本方針及び通期の業績予想を勘案いたしまして、期末に1株当たり4円を予定しております。

今後のわが国経済の見通しにつきましては、急激な円高の進行や世界経済の下振れ懸念、経済対策終了後の反動、厳しい雇用環境等による景気の下押し圧力が強まり、予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような経営環境を踏まえ、当社グループは、引き続き総力を挙げ、コスト改革にグループ各社の事業基盤強化策を加えた経営改善計画を推進してまいります。また、独自の製品・新技術・新生産方式の開発を柱とした「オンリーワン企業」の地位確立に邁進するとともに、成長分野に対して積極的な事業展開を図り、企業価値の向上に努めてまいります。今後も、コーポレートメッセージ「One-piece Cycle」が表す「素材から製品までの一貫生産」により、トピー工業グループの一貫利益の追求とさらなる躍進を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

# セグメント別の営業概況

## 鉄鋼事業

鉄鋼業界は、アジア向けを中心に輸出が拡大するとともに製造業向け鋼材需要が堅調に推移いたしました。一方、電炉業界においては、主力市場である土木・建築向け鋼材の需要が引き続き低迷する中、主原料である鉄スクラップ価格が上昇する等、厳しい状況に置かれました。

このような状況下、当社グループにおきましては、産業機械等の製造業向け鋼材の需要が大幅に増加いたしました。その結果、売上高は330億5百万円、営業利益は18億2千7百万円を計上することができました。



## その他

電力卸供給事業、屋内外サインシステム事業、化粧品等に使われる合成マイカの製造販売、LEDディスプレイ及びクローラーロボットの製作販売、「トビレックプラザ」(東京都江東区南砂)等の不動産賃貸、スポーツクラブ「OSSO」の運営等を行っております。売上高は71億3千1百万円となりましたが、電力卸供給事業での燃料費変動等の影響により営業利益は6千7百万円となりました。



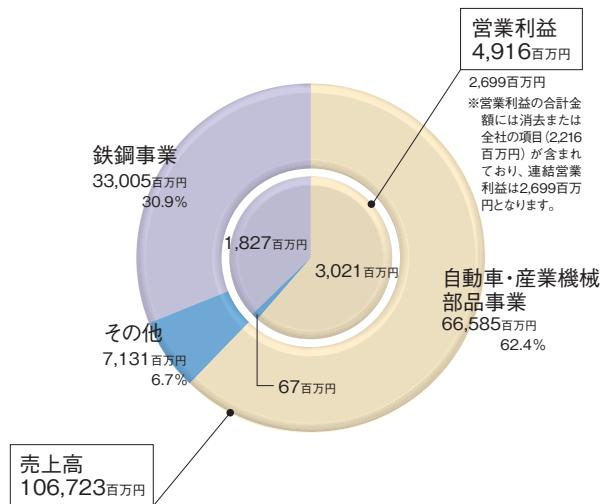
## 自動車・産業機械部品事業

建設機械業界は、アジアを中心とした新興国でのインフラ整備や資源開発等の旺盛な海外需要に支えられ、好調に推移いたしました。また、自動車業界につきましては、海外需要やエコカー補助等の効果による国内販売の増加により、国内生産台数は前年同期を上回りました。

このような状況下、当社グループにおきましては、建設機械用足回り部品及び鉱山向け超大型ホイール、トラック用ホイールを中心に、販売数量が大幅に増加いたしました。一方、徹底的なコスト削減等のあらゆる改善諸施策の効果を維持してまいりました。その結果、売上高は665億8千5百万円、営業利益は30億2千1百万円を計上することができました。



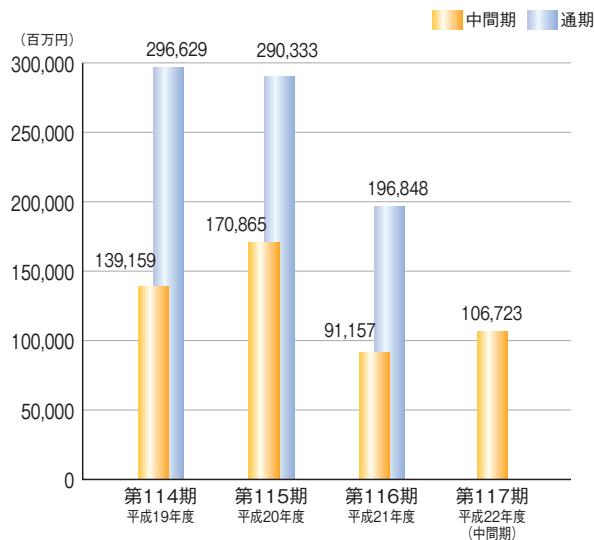
## 事業別の売上高・営業利益



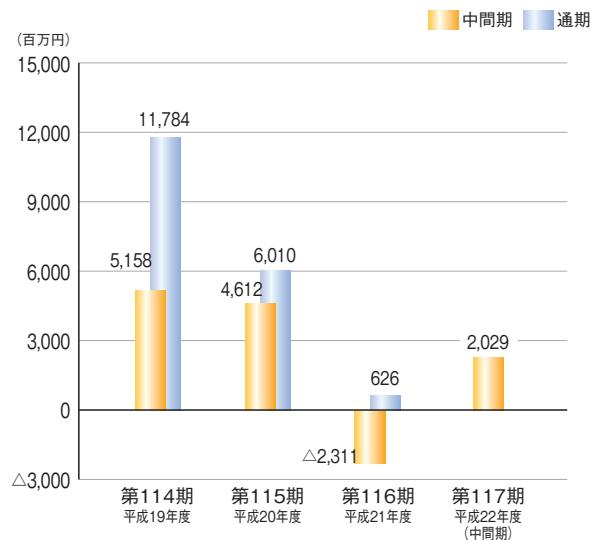
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 業績ハイライト

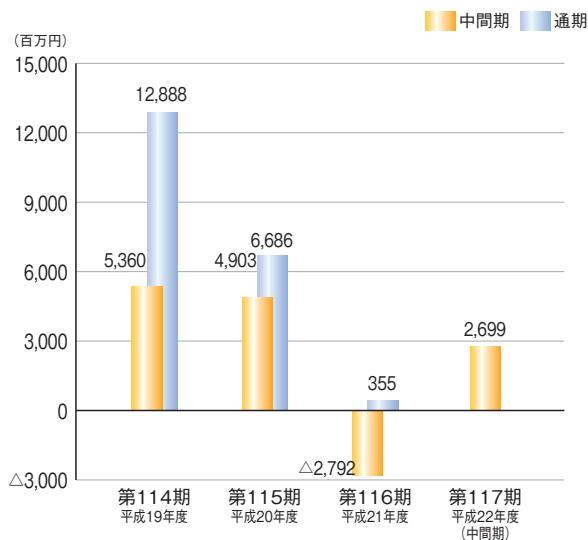
## 売上高



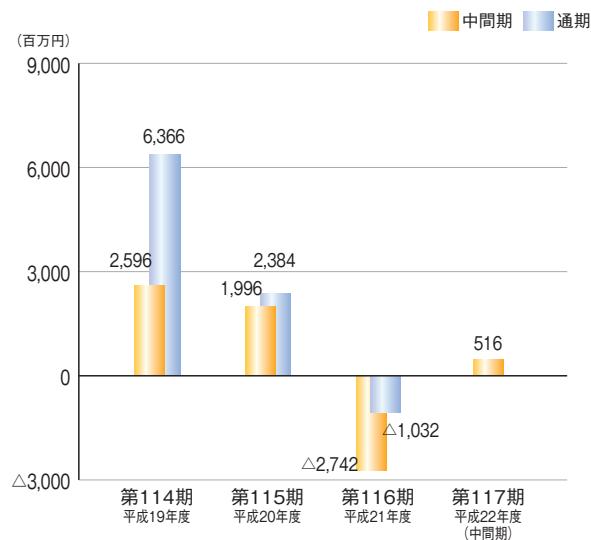
## 経常利益



## 営業利益



## 当期純利益



# 中間連結貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

(単位：百万円)

| 科 目           | 金 額      | 科 目          | 金 額     |
|---------------|----------|--------------|---------|
| (資産の部)        |          | (負債の部)       |         |
| 流動資産          | 91,553   | 流動負債         | 77,170  |
| 現金及び預金        | 16,260   | 支払手形及び買掛金    | 37,569  |
| 受取手形及び売掛金     | 42,620   | 短期借入金        | 26,659  |
| 商品及び製品        | 13,921   | 1年内償還予定の社債   | 3,335   |
| 仕掛品           | 4,159    | リース債務        | 56      |
| 原材料及び貯蔵品      | 7,707    | 未払法人税等       | 1,424   |
| 繰延税金資産        | 1,826    | 資産除去債務       | 25      |
| その他           | 5,126    | その他          | 8,100   |
| 貸倒引当金         | △69      | 固定負債         | 41,352  |
| 固定資産          | 106,431  | 社債           | 5,600   |
| 有形固定資産        | 76,905   | 長期借入金        | 22,997  |
| 建物及び構築物       | 70,732   | リース債務        | 606     |
| 減価償却累計額       | △45,333  | 繰延税金負債       | 81      |
| 建物及び構築物(純額)   | 25,399   | 退職給付引当金      | 5,291   |
| 機械装置及び運搬具     | 150,442  | 役員退職慰勞引当金    | 771     |
| 減価償却累計額       | △121,019 | 定期修繕引当金      | 631     |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 29,423   | 資産除去債務       | 257     |
| 土地            | 18,300   | 負ののれん        | 230     |
| リース資産         | 731      | その他          | 4,884   |
| 減価償却累計額       | △64      | 負債合計         | 118,522 |
| リース資産(純額)     | 666      | (純資産の部)      |         |
| 建設仮勘定         | 1,049    | 株主資本         | 83,399  |
| その他           | 30,661   | 資本金          | 20,983  |
| 減価償却累計額       | △28,595  | 資本剰余金        | 18,824  |
| その他(純額)       | 2,065    | 利益剰余金        | 43,743  |
| 無形固定資産        | 536      | 自己株式         | △151    |
| 投資その他の資産      | 28,998   | 評価・換算差額等     | △4,667  |
| 投資有価証券        | 22,704   | その他有価証券評価差額金 | 337     |
| 繰延税金資産        | 3,669    | 繰延ヘッジ損益      | △9      |
| その他           | 2,688    | 為替換算調整勘定     | △4,995  |
| 貸倒引当金         | △74      | 少数株主持分       | 731     |
| 資産合計          | 197,984  | 純資産合計        | 79,462  |
|               |          | 負債純資産合計      | 197,984 |

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 中間連結損益計算書

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位：百万円)

| 科 目                 | 金 額     |
|---------------------|---------|
| 売上高                 | 106,723 |
| 売上原価                | 91,214  |
| 売上総利益               | 15,508  |
| 販売費及び一般管理費          | 12,809  |
| 営業利益                | 2,699   |
| 営業外収益               | 734     |
| 受取利息                | 17      |
| 受取配当金               | 208     |
| 負ののれん償却額            | 115     |
| その他                 | 393     |
| 営業外費用               | 1,404   |
| 支払利息                | 521     |
| 持分法による投資損失          | 392     |
| 為替差損                | 292     |
| その他                 | 197     |
| 経常利益                | 2,029   |
| 特別利益                | 127     |
| 固定資産売却益             | 7       |
| 投資有価証券売却益           | 32      |
| 適格退職年金終了益           | 86      |
| その他                 | 1       |
| 特別損失                | 357     |
| 固定資産売却損             | 1       |
| 固定資産除却損             | 168     |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 175     |
| その他                 | 11      |
| 税金等調整前四半期純利益        | 1,799   |
| 法人税等                | 1,217   |
| 少数株主損益調整前四半期純利益     | 582     |
| 少数株主利益              | 65      |
| 四半期純利益              | 516     |

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## ■中国乗用車用ホイールの生産拠点を完全子会社化

6月、中国福建省で乗用車用スチールホイールの生産拠点の持分を追加取得し、完全子会社化し、会社名を福建トピー汽車零件有限公司(以下「福建トピー」)といたしました。



中国の自動車産業は、世界的な不況のなかでも成長を続け、2009年には世界第1位の市場規模となりました。今後も所得水準の向上を背景に、都市部を中心に乗用車購買層の着実な増加が見込まれています。トピー工業グループのホイール事業のグローバル戦略を展開する上で、福建トピーの完全子会社化が最善と判断し、このたび持分を追加取得いたしました。今回の完全子会社化により、独自の意思決定を一層的確かつ機敏に行う経営体制を構築し、トピー工業グループの中国におけるホイール事業の基盤をより強固なものにしております。

## ■2010 TOPY CUP開催

当社は、社会貢献活動の一環として、TOPY CUP 日米大学対抗ゴルフ選手権を支援しています。今年の大会は、台風の影響を受け、例年計54ホールを3日間で競う大会日程が2日間に短縮されました。男子団体戦は昨年5連覇を逃した東北福祉大学が、3ラウンドすべてでスコア対象者全員がアンダーパーでプレーし、9度目の栄冠に輝きました。また、女子団体ではアリゾナ大学が21年ぶり2回目の優勝を飾りました。個人戦は男子が藤本佳則選手(東北福祉大学)、女子がイザベル・ブエノ選手(アリゾナ大学)が優勝しました。当社は本大会を通じて、スポーツ振興及び日米学生親善、地域活性化の支援に取り組んでいます。



## ■エクスクローラーがレスキュー装備品の採用第1号に

世界各国でテロ災害が頻発している状況等に鑑み「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令」が今年度改正され、検知型遠隔探査装置が救助隊の装備として推奨されています。その中で、当社製検知型ロボット(商品名:エクスクローラー)は採用実績の第1号となりました。サイエンス事業部では、このロボットを10月6~8日に東京ビッグサイトで開催された「危機管理産業展2010」に出展いたしました。会場では東京消防庁消防救助機動部隊(ハイパーレスキュー)によるエクスクローラーのデモンストレーションが行われ、多くの来場者の注目を集めました。今後も、レスキューをはじめ床下点検など人手による作業が困難な閉所や高所でのニーズを捉え、クローラーロボットの拡販に取り組んでまいります。



## ■(財)交通遺児育英会への寄付を実施しました

1万株以上ご所有の株主様への当社株主優待\*1は、交通傷害保険に加え、フラワープレゼントまたは社会福祉団体への寄付のいずれかを選択いただいております。社会福祉団体への寄付を選択されますと、株主様に代わり、当社からフラワープレゼント相当額を寄付いたします。2010年3月末の株主様のうち、172名の株主様が社会福祉団体への寄付を選択されました。

寄付選択者数・・・・・・・・・・172名  
寄付金額・・・・・・・・・・516,000円  
寄付先・・・・・・・・・・財団法人交通遺児育英会\*2

※1 株主優待制度の詳細は14ページをご覧ください。  
※2 寄付先については、当社が「輸送用機器の総合メーカー」であるということ考慮し、交通遺児をサポートする財団法人交通遺児育英会としました。

# 株式の状況

(平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数 883,000,000株

発行済株式総数 240,775,103株

株主数 17,683名

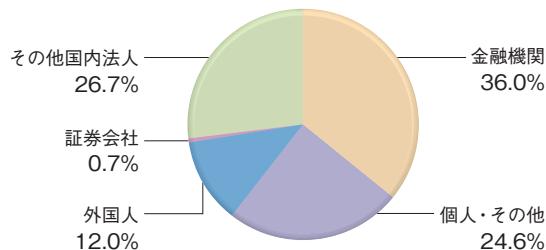
## 大株主一覧(上位10名)

| 株主名                       | 株数(千株) | 持株比率(%) |
|---------------------------|--------|---------|
| 新日本製鐵株式会社                 | 48,182 | 20.05   |
| 株式会社みずほコーポレート銀行           | 10,878 | 4.53    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 10,111 | 4.21    |
| 明治安田生命保険相互会社              | 9,751  | 4.06    |
| トビーファンド                   | 7,075  | 2.95    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)   | 6,947  | 2.89    |
| 株式会社りそな銀行                 | 5,909  | 2.46    |
| 株式会社損害保険ジャパン              | 5,746  | 2.39    |
| トビー工業社員持株会                | 5,210  | 2.17    |
| みずほ信託銀行株式会社               | 4,893  | 2.04    |

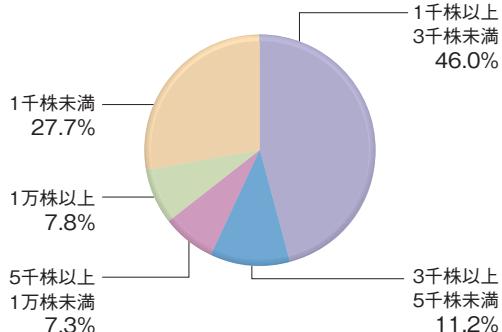
- (注) 1.株数は千株未満を切り捨てて表示しています。  
 2.持株比率は、自己株式を控除して算出しています。  
 3.トビーファンドは当社取引先持株会の名称です。

## 株式分布状況

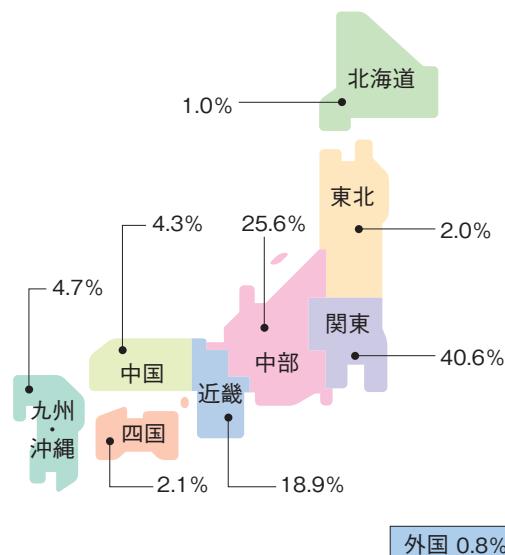
### ●所有者別分布 (株式数)



### ●所有株数別分布 (株主数)



### ●地域別分布 (株主数)



# 会社概要

(平成22年9月30日現在)

商号 トピー工業株式会社  
創立 1921年(大正10年)10月  
資本金 20,983百万円  
社員数 1,956名

## 主要な事業所

- 本社 東京都品川区大崎1-2-2 ☎03-3493-0777(総務部直通)
- 支店 名古屋支店 名古屋市中区 大阪支店 大阪市中央区
- 生産拠点 豊橋製造所 愛知県豊橋市 豊川製造所 愛知県豊川市  
綾瀬製造所 神奈川県綾瀬市 神奈川製造所 神奈川県茅ヶ崎市
- 研究開発センター 愛知県豊橋市

連結子会社数 17社

## 役員

### ○取締役

代表取締役社長 清水良朗  
専務取締役 東 彰  
専務取締役 池田 仁  
専務取締役 荒井隆司  
常務取締役 生田目光男  
常務取締役 金森 豊  
取締役 黒田郁夫  
取締役 望月淳夫  
取締役 佐原崇彦  
取締役 金子正好  
取締役 谷 俊之

### ○執行役員

小川雄三  
齋藤徳夫  
棚橋 章  
石井泰人  
秋山範雄  
熊澤 智  
木嶋伸一  
竹内一郎

### ○監査役

常勤監査役 植野道雄  
常勤監査役 阿部一誠  
常勤監査役 瀧山 崇  
常勤監査役 能野基道

# 株主優待制度のご案内

## 基準日

毎年3、9月末日の株主名簿に記載された株主の皆様を対象に、そのご所有株式数に応じて、下記の優待を実施しています。

## 優待内容

### 1千株以上 3千株未満ご所有の株主様

#### ●交通傷害保険の付保

- ・死亡・後遺障害保険  
保険金額:100万円(最高)  
補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害  
保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日午前0時から翌年の1月1日午後4時まで  
9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日午前0時から7月1日午後4時まで
- ・入院特約  
保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、1,000日以内)

### 3千株以上 1万株未満ご所有の株主様

#### ●交通傷害保険の付保

- ・死亡・後遺障害保険  
保険金額:100万円(最高)  
補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害  
保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日午前0時から翌年の1月1日午後4時まで  
9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日午前0時から7月1日午後4時まで
- ・入院特約  
保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、1,000日以内)
- ・通院特約  
保険金額:1千円/日(90日以内)

### 1万株以上ご所有の株主様

#### ●交通傷害保険の付保

- ・死亡・後遺障害保険  
保険金額:100万円(最高)  
補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害  
保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日午前0時から翌年の1月1日午後4時まで  
9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日午前0時から7月1日午後4時まで
- ・入院特約  
保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、1,000日以内)
- ・通院特約  
保険金額:1千円/日(90日以内)
- フラワープレゼントまたは 社会福祉団体への寄付  
年2回(6月・12月)実施

## その他

当保険は保険業法における傷害総合保険普通保険約款交通事故傷害危険のみ担保特約が適用されます。

なお、保険の内容についてのお問い合わせ、事故のときのご連絡は、下記事務局までお願いします。

トピー工業株主様自動付帯交通傷害保険サポート事務局  
株式会社トピーエージェンシー  
TEL.03-5436-0212 FAX.03-5436-0215



## 株主メモ

- 決算期 3月31日
- 定時株主総会 6月
- 基準日 3月31日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 期末配当金受領者  
確定日 3月31日
- 中間配当金受領者  
確定日 9月30日(中間配当をする場合)
- 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
(特別口座管理機関) 中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
0120-78-2031(フリーダイヤル)
- 公告方法 電子公告(当社ホームページ掲載)  
※やむを得ない事由により電子公告が出来ない場合、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

### ■表紙写真 豊橋製造所大形圧延工場の加熱炉の燃料をLNG化

豊橋製造所(愛知県豊橋市)では、大形圧延工場の加熱炉の燃料を重油からLNG(液化天然ガス)に転換し、この7月から運用を開始いたしました。これまで、大形圧延工場の加熱炉は、主に重油を燃料として鋼片の加熱を行ってまいりましたが、硫酸化物や煤塵による環境面への負荷を抑えるため、大気汚染物質を含まないLNGへ燃料を転換いたしました。LNGでの鋼片加熱は、二酸化炭素排出量も少なく、大形圧延工場の加熱炉が排出する二酸化炭素は年間約13,500トン削減されます。これは、100万本の杉の木が吸収する二酸化炭素の量に相当します。また、燃焼時の空気過剰率を改善することで、窒素酸化物排出量の低減と低燃費化を実現しております。

*One-piece Cycle*

流れるように美しい、技術と品質。

